



4月はあとわずか。ポーポキは、外で遊びたくなりました。
みなさんも、一緒にいかが？

Popoki's Hot News!



COMING SOON!



今年もポーポキは灘チャレンジに出ます！
6月7日(日) 都下川公園でお待ちしています！

ポーポキのピース・ブック 3！



ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、
『ポーポキ、元気って、なに色?』は、お近くの本屋
さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、
ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、
および感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのもちにゃんから届いた平和。
「笑顔が自然と伝わっていくこと。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポ
ーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

いつもご協力、ありがとうございます！



「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」
(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！
*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



ポーポキのミニ平和映画祭は 2015 年 3 月 28 日 (土) に神戸 YWCA で 13 : 30 時から 17:00 時にかけて開催されました。「東日本大震災・福島第一原発事故をとらえ、どう表現する？一緒に考えましょう」というテーマについて、参加者 20 人は 4 つのミニ映画を一緒に見て、小人数でディスカッションをしました。

最初に、「お盆に帰っておいで」という、伊藤洋子さんの写真から作られたスライド・ショーは、岩手県大槌町の現状や復興のプロセスを紹介しました。特に現地に行ったことのない参加者には、現状を知る大切な機会となりました。そのあとの「福島の女たち」では、福島住民 6 人の女性の反原発運動や震災体験が描かれていました。多くの参加者が感動したように思います。

3 つ目の映画、震災直後に作られた八谷智彦作の「おなかが痛くなった原発くん」というアニメのメッセージは、福島第一原発事故の問題はすぐに解決されるだろうということでしたので、何人かの参加者は驚きました。最後に、富山妙子・高橋悠治作の「海からの黙示」が上映されました。この作品では、絵画や音楽を通じて震災について考えることができました。



ふりかえりで、参加者はみんな一人一人自分の感想を発表しました。実際に現地に行くことの価値、アートの役割、そしていろいろな国籍・年齢の人と交流することの大事さなどのテーマが特に多かったように思います。意義のある時間を過ごすことができました。

ポーポキ at「ふくのわ」プロジェクト

いずみにゃん

◇ 先日、ポーポキは友だちのいずみにゃんがかかわっている活動に参加できました。以下が報告です。

4 年前に安家座は「ふくのわ」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトには 3 つの目的があります。1 つ目は着物のリメイク、2 つ目は雇用創出、そして 3 つ目は着物を軸とした様々な想いをつなげること。

安家座のオーナーである鈴木洋子さんは、「不要になった着物を掘り出し、洗い、そしてリメイクをする」という着物の再利用に関心がありました。この過程には人の力が必要ですので、これを雇用創出の震災復興プロジェクトにしようと彼女は考えました。様々な想いが一つの着物に込められています。お年寄りの方にとっては、懐かしい着物の絵柄を見て昔話に花が咲くこともあるそうです。道半ばではありますが、少しでも震災復興にお役に立てるように皆様と進めていきたいと思っています。



ポーポキは、国連世界防災会議に行くのにわくわくしました。世界の人々が集まって防災について話し合うとき、「だれが、だれのために、どのような防災」を語るのかにとっても興味があったからです。「ねこの防災もあるのかな」と思いながら飛行機に乗って仙台に向かいました。



「会議」とは言っても、国連加盟国の各国代表や認定されている団体が協議する会議なのでポーポキは出席できません。でも、数々の関連イベントは自由に覗いたり出席したりすることが可能でした。そこでポーポキは四日間の会議のうち二日間しか参加できなかったけれど、神戸大学開催のポスターセッションで、事前にろにゃんが作ったポーポキ友情物語プロジェクトのポスターの前で、もりにゃんとろにゃんが説明やお絵描き

を行いました。それ以外に、神戸大学のイベントにはもちろん、友だちのもちにゃんが発表した「復興×地域おこし×国際」や「被災地の女性の記録」、「災害対応時における支援者へのメンタルケアの必要性とその課題」、「太平洋地域における災害・気候変動に強い開発戦略」など、いろいろなセッションに参加しました。興味あるセッションのすべてに出席することができなかったけれど、感想としては、まず、一日目に福島第一原発事故に関するパブリックフォーラムのセッションがいくつかありましたが、それ以外に「福島」問題があまりおもてに出ていないという印象でした。メインが国連会議なので、政策関連のセッションが多いことも、地震・つなみを中心とする「災害」がほとんどだったことも当然のことかもしれません。台風や海面上昇のインパクトが大きい太平洋島嶼地域から帰ってきたばかりの私にとって、もっと洪水などについてのセッションがあればいいなと思いました。そして、ふりかえって見たら、安全についてのセッションがたくさんあったけれど、安心についてのセッションはあまりありませんでした。

仙台で友人に再開したり、新しい友だちを作ったりすることができたのは、ポーポキも私もうれしかったです。またお会いできる日まで、元気でいてね！

ろにゃんとポーポキの放浪の旅～その6

前は、私がグアムで見た日常生活について書くと告げました。これは以外に難しいです。100人いれば100通りの「日常」があるからです。だからここで印象に残ったエピソードのほんの一部だけを紹介しようと思います。



チャモル文化の一環としてダンスはとても貴重。世界的に知られている高校生のグループに友人の息子(右)も参加。舞台上で彼の姿は本当にカッコいい！

ひとつは、便宜的に「集まりの文化」と呼ぶことにしましょう。グアムでは誕生日など、お祝いなど特別なことがある度にみんなが集まって、食べたりします。こういった文化に食べ物が欠かせないのが特徴の一つです。でも、私がもっとも感心したのは、私が見たチャモル文化における「家族」の重要性です。毎週末のように大勢で集まったりします。友人によれば、各家族は、そのための椅子やテーブル、鍋などの小道具を揃なければならないし、食べ物を頼んだり作ったりするので、お金も労力もかかります。だれが何を持ってきたかとか、前はだれが担当したかなど、親戚とのつ

ながりや集まりの計画などを把握しないといけないらしい。もちろん、できる人もできない人もいでしょうし、「できる人」はその分大変だろうと思います。けれども、それなりのものが返ってくると理解しています。私はこの「集まりの文化」の恩恵を受けて、ビーチで開催されていたパーティに何回も呼ばれることができました。食べ物もおいしいし、いろいろな話ができて、楽しかったです。そして、なによりも、子どもたちが一生懸命に遊んでいる姿を見て、感動しました。年齢もばらばらなので、上手に泳げる子もまだ海にほとんど入ったことがないこともあります。大きな子が小さな子を気遣ったりすること、ゲームなどの電子機器を使わずに体を動かして遊ぶこと、笑ったり泣いたりごねたり甘えたりする子どもたち。素敵だねと思います。



日常生活といえば、週末にハイキングをする人もたくさんいます。私も友人に連れて行ってもらいました。景色を楽しむだけではなく、その場所はチャモル文化においてどのような意味を持つかなど、歴史や文化、政治にまつわる意味合いなども説明してくれます。今回は、フ'ウナ岩というところに行きました。この美しい岩はチャモル紀元節に出てくる場所です。けれども、カソリック教が強制しようとしていたスペインの支配下では、岩に行くことが禁止されました。植民地化に始まり、人々の日常生活に浸

透してきた暴力を象徴するものでもあります。また、マゼランが初めて着いた場所の近くに

あるので、場所の歴史的意味が解釈によって異なります。簡単に言えば、スペインの到来は「文明」の始まりか、それともチャモル文化の「破壊」の始まりか、両方なのかという問題です。最近は壁画プロジェクトなどを通して、コミュニティの中でこのようなことを議論する場づくりなどの努力がなされています。私は文化、歴史、政治、芸術、運動という生活のさまざまな側面に触れるのも楽しかったですが、素晴らしい景色の中で体を動かし、友人と笑い、子どもたちと遊ぶのも、とっても楽しかったです。



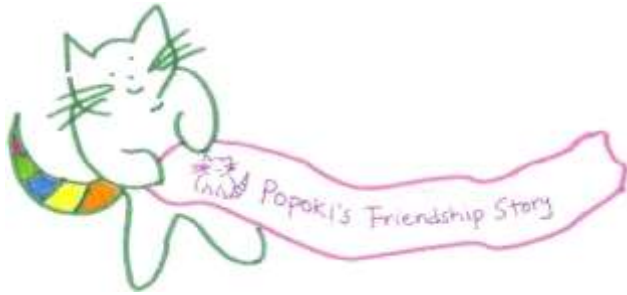
たです。

日常生活では必ずしもありませんが、グアムにいた間にグアム大学やコミュニティのいくつかのイベントにかかわることができました。たとえば、小中高校生の美術コンクールの選考委員として、数百枚の絵の中からカレンダーに使われるものを選ぶのを手伝わせていただきました。とても面白かったですが、選ぶのが大変でした！参加できたもう一つの重要なイベントは、グアム大学で開催されたセクシュアルハラ

スメントについてのパネルディスカッションです。このパネルは、学問的に「ジェンダー」やセクシュアルハラスメントの概念解説のほか、暴力被害者の証言や被害者支援活動をされている NGO 代表の発言といった勇気あふれるメンバーで構成され、貴重な議論が展開されました。私は、教育現場におけるセクシュアルハラスメントを無くし、被害者をサポートするための運動を起こすことにかかわっていた立場から話しました。大きな会場に学生や教員だけではなく、関係団体や関心ある一般市民といった参加者が大勢いて、活発な議論が展開されました。こういったイベントが開催されたことに大きな意味があると思って、継続できるように、今後は日本からでも応援したいと思います。

日常生活といえば、前回も書いたように私は日本での生活でなかなかすることができない「自分の時間」を楽しむことができました。考えたり、絵や物語を描いたり、本などを読んだり、観察したり…。そして、いつも私と一緒にいるのはポーポキ。うれしいことに、私以外にグアムでポーポキは友だちができました。写真は小さな友だちの二人。食事のあと、一生懸命にポーちゃんの絵を描いてくれました。本当にありがとう！





* ポーポキ インタビュー *

伊藤陽子さん in 神戸

☆ 今回は報告記事です。

文・写真 アスタにゃん
和訳 さとにゃん

ポーポキの友だちの伊藤陽子さんが、東日本大震災で被害を受けた彼女のふるさと大槌町の写真展を開催するために、今月神戸に来られました。展示会は神戸青少年会館で、4月9日～12日迄行われ、震災当日から非常に最近の写真までの4年間の写真が展示されました。この展示会場では、多くのポーポキの友人が伊藤さんと再会できただけでなく、彼女の写真を見て話しをしてそれらから学ぶことができたおかげで、午後の楽しいひとときを過ごすことができました。以下にその時の様子を数枚の写真でご紹介します。



“芸術家として、最高の演出—自らの作品の解説”
できる限り写真についてその背景や状況を解説する伊藤さん。



“大槌町一復興への歩み” 展示会で展示された伊藤さんの写真のうちの数枚。



“阪神淡路大震災を思い、災害の経験を共有する”
阪神淡路大震災の記念碑や希望の火を見る。

神戸で伊藤さんと過ごす時間はとても楽しかった。伊藤さんに写真や体験の話と経験を共有していただいたことに感謝します。それらはすべて、私たちにとってとても貴重なものです。伊藤さん、どうぞ神戸で過ごした時間を忘れないで下さい。

読者のみなさん、私たちのインタビュー記事(次回のポーポキ通信に載る予定)を楽しみにして下さい。



“好奇心と空腹”

「野菜のワンダーランド」と評する素敵な食事をしながら、伊藤さんをインタビューしました。

一緒にいかが？

次回のポ一会：5月26日 19:00～ 神戸YMCA (新神戸OPA2階) 201

5. 2 畿央大学でワークショップ 7:05 JR三ノ宮発でいきましょう！

6. 7 灘チャレンジ！ 神戸市灘区都賀川公園 10:00～15:00

スタッフ集合:09:00

7. 11 子どもの里プログラム 10:00～12:00

7. 30 ポーポキ at ワイズメンズアジア地域大会

ユース・コンボケーション 京都

8. 6 広島ディー(ダイイン&スカイプ) 8:00～



ポーポキの友だちからのお知らせ

- ・ 2015.5.9 14時～17時 京都女子大学法学部 公開講座

講座名: グローバル時代の共生を考える

趣旨: 人権と平和の観点から、「周縁化」と「エンパワメント」をキーワードとして、グローバル化の進む時代の共生の在り方について考える。

詳しくは、<http://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/koza/20150508.html>

- ・ 2015.7.19 12:30-14:30 「ヒロシマをめぐる＜コンフリクト＞」ワークショップ

会場: アステールプラザ 参加費: 無料 (平和学会員以外の方は、学会参加費が必要)

主催: 日本平和学会 平和教育プロジェクト委員会

後援: 平和教育地球キャンペーン中四国支部、NPO法人ART Peace

(後援して下さる団体を、随時、募集しています！ご連絡ください！)

- ・ 新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。すてきな写真集です。注文などは前田圭子さんへ。m.dodo@h2.dion.ne.jp

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 83

今月のテーマは、バランス！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. 次は、右足で立ちながら、左足を上げて、そして手を広げましょう。このまま 30 秒間我慢できますか？目を瞑ることは？終わったら今度は左足で立ってみてくださいね。
 3. 今度は、片足で立って、両手を頭の上へのばしましょう。終わったらまた反対の足でね。
 4. 次は、右足で立ちながら左足をあげる。そして、右手は横へ、左手は上へのびします。どれくらい我慢できますか？目を瞑ることは？終わったら、左足で立って、右手は上、左手は横。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

葉名 利栄子

「ポーちゃん、わたし今時間あるから一緒に遊ぼうよ！」と、ポーポキに擦り寄ろうとするわたし。「え、今?! ちょっと僕忙しいんですけど。君の都合だけで僕の予定を乱さないで。。。」と、私のことを完全無視。私のことを振り向きもせず、餌を食べるのに夢中なポーポキ。

「ポーポキくん、一緒に遊びたいんだけど、遊んでくれる？」と、ポーポキのおもちゃを手に彼に近づくわたし。「君と遊びたくはないんだな～、今。僕のペースが君の都合で乱されるのは嫌だなあ。今はちょっと放っておいてくれると助かるんだけど。」と言いたげな表情で、お気に入りスペースに行くポーポキ。

「ポーポキ様、一緒に遊んで頂けると大変光栄なのですが、遊んで頂けますでしょうか？」と、機嫌の良さそうな時を見計らって、近づいてみるわたし。「ま、遊んでやってもいいかな。」と、からだに触ることを許してくれるポーポキ。

わたしが、ポーポキシッターとして彼の縄張りにお邪魔していたときは、大体こんなことを繰り返していました。

ポーポキは、恐らくわたしの忍耐力を試していたのでしょう。無理やりに彼をわたしの思い通りに動かすこともできたのかもしれませんが、もしそうしていたら、わたしは爪で攻撃されていたことでしょう。爪で引っ搔かれるのは怖かったし、彼に嫌われるのも嫌だったので、できるだけ「平和的に」ポーポキと仲良くやっていきたいと思っていました。ポーポキと上手くやるための試行錯誤は、今思い出してみると、とても面白い経験でした。シッターとして彼のお世話を依頼されていた私としては、ボスであるポーポキのことを完全無視することもできず、彼に大好きになってもらえなくても、嫌われないようご機嫌をとる必要がありました。ポーポキにとっての当たり前と私にとっての当たり前は必ずしも一致していない。そのことをネガティブに捉えるのではなく、そこからどうやったら合意を見出すことができるか試してみようとポジティブに思考する訓練を、ポーポキは私に与えてくれた貴重なネコでした。元気でやんちゃだったポーポキのことが懐かしいです。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!